

— 業務予定 —

- #1 連隊射撃野営
- 弘前駐屯地記念日行事
- 春季岩手山演習場整備



発行

弘前市防衛協会
 事務局:弘前商工会議所内
 住所 弘前市上鞆師町18-1
 電話 33-4111(代)

印刷 小野印刷
 弘前市富田町52
 電話 32-7471

第9偵察隊 弘前駐屯地での全任務完遂！ そして新たな地、岩手へ！



第9偵察隊関連 2、3面



新成人63名、決意を新たに

弘前駐屯地二十歳のつどい
 ・関連記事 4面



酷寒の中、任務完遂！

令和5年度冬季連隊練成訓練
 ・関連記事 4面



心を動かす雪像を市民へ！

弘前雪燈籠まつり支援
 ・関連記事 5面



中隊の名誉と誇りをかけて力走!!

第39普通科連隊
 令和5年度冬季戦技競技会
 ・関連記事 6面

第9偵察隊 慧敏

昭和32年2月21日 令和6年3月15日

- 昭和32年2月21日 「第9偵察中隊」創隊【大和駐屯地】
- 昭和32年3月5日 八戸駐屯地へ移駐
- 昭和37年8月15日 「第9偵察隊」に改編
- 昭和42年3月26日 B班新編
- 昭和43年3月15日 弘前駐屯地へ移駐
- 昭和51年3月25日 レーダー班新編
- 平成2年3月26日 本部付隊・電子偵察小隊新編
- 平成3年3月29日 2A班解組 C班(84mm無反動砲装備)新編
- 平成6年8月1日 C班(87式偵察警戒車装備)改編
- 令和6年3月15日 第9偵察隊廃止 ~伝統の継承 そして未来へ~



第九偵察隊は、昭和四十三年弘前へ移駐以来、様々な訓練、恒常業務、各種支援、各種競技会等、任務を達成してきた。

なかでも、令和元年度に受閲した、王城寺原・岩手山・青森及び八戸演習場の方面管内の広範囲を使用した令和元年度第九偵察隊訓練検閲では約四十kmの徒歩行進、約二十kmの徒歩斥候、車両機動は総機動距離約千kmを走破した。検閲間、隊指揮所を岩手、八戸へと二度移転させ、十夜十一日に及んだ長期任務は、各人が地位・役割を理解し行動したことにより主戦闘地域(王城寺)、師団段列(岩手山)及び後続上陸部隊の監視(青森及び八戸)と様々な任務に臨機応変に対応し、すべての任務を完遂、改めて第九偵察隊の慧敏さが際立った検閲となった。

また、冬季の訓練検閲等では、降雪と気温マイナス十度を下回る酷寒の中、冬季の装備と服装によるスキー機動、深夜のスキーでの斥候活動、雪濠内での指揮所活動及び固形燃料のみでの採暖要領、雪濠及び監視哨の構築、敵後方地域へ軽雪上車の機外搭載による潜入及び冬季におけるヘリ誘導等、冬季における偵察隊員の資質を存分に発揮し如何なる状況での任務を完遂してきた。

第九偵察隊と第三十九普通科連隊は弘前駐屯地に移駐したときから、お互いに切磋琢磨し師団競技会をアベック優勝する等、数々の活躍をしてきた。第九偵察隊は廃止されるが、キャッチフレーズ「慧敏」シンボルマーク「狼」のように賢く素早く逞しい隊員らは岩手の地でも今まで以上の活躍が期待される。

夢・人・街……

（公）青森県宅建物取引業協会会員
不動産ネットワークサービス会員店
日本共済株式会社代理店

Art 株式会社 アート不動産

代表取締役 梶澤睦子

〒036-8203 青森県弘前市本町34番地1
TEL 0172-31-8131 FAX 0172-31-8228
http://art-fudosan.jp/

国土交通省登録講習機関
青森ドローンスクール

国家ライセンス講習 空撮・水中撮影
水中・農業ドローン 点検・散布請負
イベント・講習会 ●各種機体販売

ドローンに関する質問・依頼、なんでもお気軽にお問い合わせください
TEL 0172-28-2727 青森ドローンスクール 検索

新・車検システム導入

車検が60分でOK!
ずばり **9,800円**

整備保証付

要予約

- お客様が来社して自分のお車を確認しながら行います。
- ご利用されます方は予約が必要です。電話受付しますと係員がお伺いします。

*5ナンバーサイズの2000ccまで

(株)東海自動車工業
弘前市神田1丁目5-4 TEL.0172-33-7700(代)

第9偵察隊あの日、あの時、あの場所での勇姿



弘前 アパート・マンション **八戸**
青森 8,000件以上! **五所川原**

青森県内4店舗のネットワークで
 売買物件・賃貸物件をお探しします。

TAIYO ESTATE 株式会社 太陽地所

国土交通大臣免許(2)9399号 (公社)青森県宅地建物取引業協会会員
 〒036-8004 弘前市大字大町3丁目1-2 TEL0172(33)4445 FAX0172(33)4519
 http://www.taiyojisho.jp/ E-mail spg@taiyojisho.jp

PARK 弘前パークホテル
 〒036-8182 弘前市土手町126
 TEL 0172-31-0089
 E-mail h-park@imgnjp.com

HIROSAKI PARK HOTEL

BREITLING 1884

JEWELRY KAMATA
 www.j-kamata.com
 弘前本店/弘前市宮川2-1-11 TEL : 0172(32)3730

「失敗恐れず日々精進」

隊員ら決意新たに！
弘前駐屯地二十歳のつどい

弘前駐屯地は、一月十七日、弘前駐屯地体育館において「弘前駐屯地二十歳のつどい」を実施した。

今年度中に二十歳を迎える隊員たちが、国防を担う使命を胸に決意を新たに。式には教育等に参加中の隊員を除く四十八人が出席。中隊の隊員らが見守る中、萱沼司令が「皆さんが二十歳になり、自分で人生を切り開き進むことができるようになったことが喜ばしい。人生の主人公は皆さん自身、輝く誇らしい人生を送ってもらい、これからの活躍を期待する」と激励の言葉を送った。

続いて代表者の第三普通科直接支援中隊三等陸曹坂本流人が「失敗を恐れず挑戦し、さまざまなことに貢献できるようにこれからも日々精進していく」と決意表明した。

式典を終え、二十歳の隊員達は事前に行った書初めとともに今年の抱負を発表し、中隊の隊員達からは大きな拍手と温かい声援が送られた。後輩隊員の熱いまなざしに触れ駐屯地一同、今後の活躍に期待している。



記念撮影



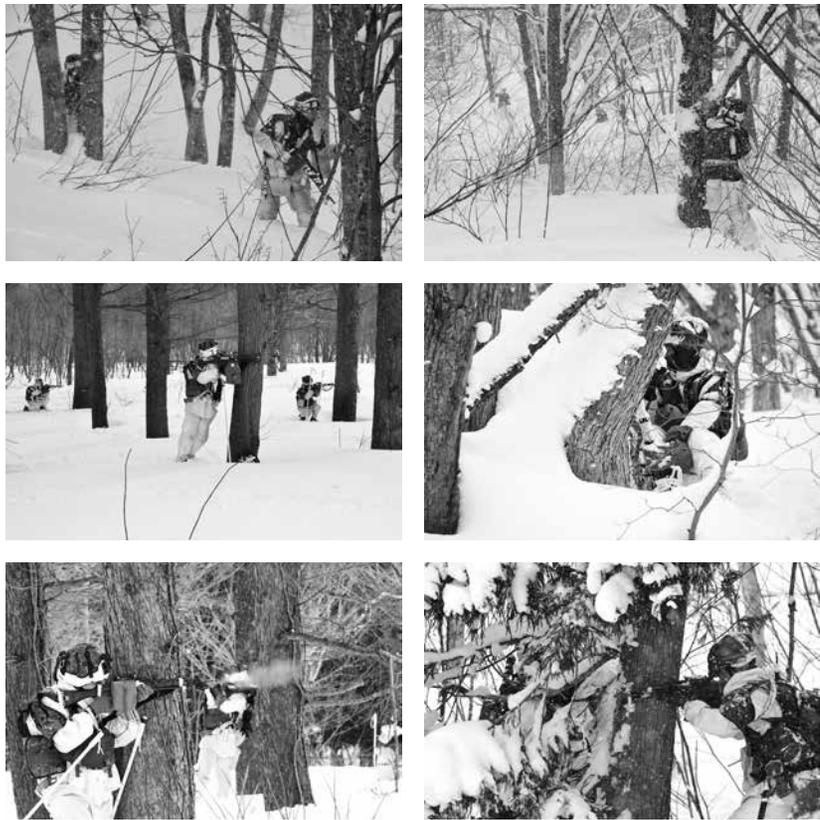
決意表明を述べる坂本3曹



今年の抱負を発表する隊員



今年の抱負を発表する隊員



第三十九普通科連隊は、一月二十九日から二月二日までの間、弘前演習場において令和五年度冬季連隊練成訓練を実施した。

この訓練は、冬季における指揮幕僚活動、冬季戦闘能力の向上及び戦闘力の組織化を目的に実施され、訓練開始式において萱沼連隊長は要望事項「実戦を意識して行動せよ」、「非戦闘損耗の根絶」の2点を示し、「冬季における特性を踏まえることが極めて重要であり、積雪寒冷地という厳しい環境を克服し、頑強不屈の弘前三十九連隊として任務を完遂することを期待する」として、訓練が開始された。

一日ごと天候や気温がめまぐるしく変化する厳しい訓練環境ではあったが、各中隊は、日頃の訓練の成果を遺憾なく発揮し、任務を完遂した。また、今訓練はバトラを使用した対抗戦も実施され、演習終了後、バトラでの戦闘経過を分析し、勝敗原因の分析結果が各小隊長に提供され、自身の状況判断を客観的に評価することにより状況判断能力の向上が図られた。

連隊は、引き続き積雪寒冷地部隊としての任務を全うするため、訓練に励む。

過酷な気象条件の中、任務完遂！
令和五年度冬季連隊練成訓練

青森県自衛隊退職者 津軽地区雇用協議会

企業の発展に自衛官退職者を！

会長 堀江敏志



株式会社 長内建築事務所
〒036-8142 青森県弘前市松原西三丁目5-5
☎0172-87-4321 URL http://fb-4sun.jp/

祖国と郷土の平和繁栄の守護神
弘前公園四の丸鎮座

青森縣護國神社

宮司 齋藤 毅

社務所 青森県弘前市大字下白銀町1-3 TEL (0172)32-0033

心を動かす雪像を完成させよ

弘前駐屯地は二月九日、弘前城雪燈籠まつりの大雪像完成報告式を行った。「みちのく五大雪まつり」の一つである弘前城雪燈籠まつりは弘前市が主催しているもので、弘前駐屯地は地域住民との一体感を深めるとともに、自衛隊に対する理解と信頼感の醸成を図ることを目的に一九七七年の第一回目から協力し、今年で四十八回目を迎える。

式は、まつりのメイン会場となる弘前公園内「四の丸」で行われ、協力隊長（第三十九普通科連隊本部管理中隊長・三上一尉）が大雪像の完成を駐屯地司令に報告した。制作期間中、協力隊は近年まれにみる暖冬小雪の影響をうけ、雪集めは岩木山麓からトラックで運び、雪も中々固まらず少ない雪をかき集めた影響で表面には汚れが浮き上がり、白い雪を貼り付ける為にきれいな新雪を探す隊員たちも暖冬の影響で探すのが大変な上に見つけたとしてもザラメ（雪）でくっつきがわるく隊員は終始暖冬と戦いながら根気強い努力により大雪像一基と滑り台一基を見事に完成させ、任務を完遂した。

完成報告式の後、メイン会場では雪燈籠まつり開会式が実施された。式では、まつり運営委員長である櫻田宏弘前市長より協力隊へ感謝と労いの言葉が贈られた。また、萱沼司令から櫻田市長に対して「雪像完成引渡書」が手渡され、雪燈籠まつりが盛大に開幕した。今年の大雪像は、北海道函館市を代表する洋風建築「函館ハリストス正教会」であり、高さ十・五メートル、横幅一二メートルで訪れた市民や観光客を驚かせた。また、例年より高さが一メートルほど縮小した滑り台の前には大勢の子供達が列を作り、歓声を上げながら滑っていた。

設計を担当した、三上三曹は今回が三回目、十一月から設計図作成を開始し、十二月頭に完成させた。ポイントである窓や屋根の上の丸い部分は三上三曹の作成した設計図を見ながら隊員が順調に削りだし滑らかな曲線に仕上がった。例年より雪が少なく、雪まつり等開催できない地域もあったが弘前市は自衛隊と地域の皆さんとの協力により、まつり開催の運びとなった。



すべり台作業の様子



ポイントの丸い部分の削りだしの様子



引渡し式の様子

記録的暖冬とは？

当日は積雪地に相応しい降雪の中、岩木山麓を激走！！



一斉にスタートする隊員



下り坂に挑む隊員



中隊の応援の中の力走



全体ラップを目指し！



完全優勝を決めたリレーアンカー



冬季最強中隊誕生！

令和5年度 第39普通科連隊冬季戦技競技会

第三十九普通科連隊は、二月二十七日令和五年度連隊冬季戦技競技会を実施した。この競技会は、冬季戦技能力を向上させ部隊の団結の強化及び士気の高揚を目的に実施され、開会式において萱沼連隊長は、「中隊の総力を結集せよ」、「実践に資する冬季戦技能力の向上」、「基本基礎動作の確行」の三点を要望し、競技会が開催された。本競技会は小隊機動走、階級別リレー、個人機動走の三種目で行われ、小隊機動走と階級別リレーの平均タイムの合計が最も早い中隊が優勝となる。記録的暖冬においても積雪地に相応しい降雪が続く中、競技会が実施され、小隊機動走は一個小隊十一名で合計百三十kgの重量をそれぞれアキオ（そり）と各人に小隊計画で分配し全長約五・三kmの起伏の激しいコースを克服しながら中隊の名誉と誇りを背のうに背負って力走した。続く階級別リレーでは、各中隊の選ばれし精鋭により全長三kmのコースで行なわれ、各ポイントやゴール付近では同僚隊員が声援を送るなど部隊の団結及び士気の向上を図る事が出来た。結果は第二中隊が昨年の雪辱を果たして小隊機動走及び階級別リレーを制し完全優勝を果たした。頑強三十九連隊の冬季最強中隊の称号は「不撓不屈」第二中隊へ！閉会式で連隊長は、「統裁官要望事項を各隊員は具現実行したものと認める」とし、「更なる冬季戦技能力の向上を図るとともに、常に『実践において戦えるのか、勝てるのか』を念頭に引き続き、冬季戦技訓練に邁進することを期待する」とした。

施設利用者に雪燈籠まつり気分を演出

弘前駐屯地曹友会は二月十七日、会長以下十名の会員で、障害者支援施設「千年園」において雪燈籠作成のボランティア活動を実施した。

この活動は、毎年弘前市内で「弘前城雪燈籠まつり」が開催されているが、施設利用者は祭り会場に足を運ぶのが困難なため、施設園内でも祭りの雰囲気を楽しんで頂く為に企画し、今回で二十一回目となる活動である。

今年も近年まれにみる暖冬小雪の影響で雪の確保が難しい中、施設職員による事前の雪積みと作成日前日のまとまった降雪の影響で今年も例年通り、バケツと塩ビパイプを使って大小の雪燈籠を約四十個作成し今年の干支「辰」の文字を作った。夜に火を灯すと雪燈籠から温かみのあるやわらかい光が照らされ幻想的な雰囲気が演出された。参加した会員や施設職員からは、「今回は暖冬小雪の影響から雪燈籠作成は厳しいかとも思ったが、恵みの雪が降ったおかげで例年通りできてよかった。来年も頑張りたい」との声が聞こえた。

曹友会長(村上均)は「『辰』の字がきれいに見えるよう、雪燈籠の間隔を工夫した。少しでも園の利用者に雪燈籠まつりの雰囲気を楽しんでもらえばうれしい」と話した。



風を切って走り風を読んで射る!

弘前駐屯地スキー部は第六十回バイアスロン日本選手権大会、九十五回宮様スキー大会国際競技会に参加した。バイアスロンの原型はスキーで野を駆け回り、銃で獲物を撃つ冬の狩猟であり、これが後に雪中戦や森林警備隊の技術として用いられるようになった。競技としては、十八世紀後半にスウェーデンとノルウェーの軍人が行なったのが始まりといわれている。

全国の陸上自衛隊においても、近代二種訓練隊として競技を行ない積雪地部隊としてのスキー、射撃練度向上を図っている。近代二種訓練隊で培った高い射撃技術からスナイパーや射撃指導教官に転向するものも数多くいる。

過去に駐屯地スキー部においては、リレー競技において全日本優勝経験もあり、スキー技術に長ける歩兵三十一連隊の頑強不屈の精神を受け継いでいる。弘前駐屯地スキー部はこれからも各種大会への参加、支援、地域交流を通して減少するスキー人口の復活へ貢献していく。



弘前駐屯地は三月十八日、定期異動に伴い転出行事を実施した。

今回の定期異動で、幹部七名、曹士四十四名が北は北海道(別海)、南は九州(宮古)へ異動となった。萱沼司令は送別の辞において「職務遂行上、隊務運営上の必要性と人材育成の観点から新しい部隊で新しい風を吹かせる事を期待する」と激励した。

転出行事終了後は各部(中)隊ごとに紹介行事を行った後、駐屯地全員が隊舎前のメイン道路に整列し、転出者は見送りを受け、大勢の拍手の中、新任地へと旅立っていった。

また、四月一日には駐屯地朝礼において転入者の紹介行事を行った。新たな戦力として、計二十五名が加わった。行事では当初、着任部長が紹介され、一人ずつ挨拶を述べた。続いて転入者が紹介され、代表者が「歴史と伝統のある弘前駐屯地で勤務できることを喜んでいきます」と決意を表明した。

萱沼司令は転入者に対し「二十五名の転入者の皆さん、ようこそ弘前駐屯地へ。弘前駐屯地を更に輝かせるためには、全国各地から集まった皆さんの新しい風が不可欠。各人の様々な色を出して、駐屯地の精強化につなげて欲しい。また駐屯地全体で転入者を温かく迎え入れることで戦力化しよりよいものを作っていこう」と訓示し激励した。

転入者を含めた新たな弘前駐屯地の、今後の活躍にご期待ください。

転入部隊長紹介



第1中隊長
3等陸佐
松嶋 佑介



副連隊長
2等陸佐
長尾 明洋



重迫撃砲中隊長
1等陸尉
山内 友比古



第2中隊長
1等陸尉
大須賀 岳実

定年退官者・早期退職者の紹介

永年の勤務お疲れ様でした。

連隊本部

二等陸佐 西田 和正

第四中隊

陸曹長 佐藤 秀樹

業務隊

一等陸曹 大屋 智子

本部管理中隊

陸曹長 對馬 武規

第9偵察隊

准陸尉 中澤 尚喜

基通

陸曹長 横沢 三枝

